

年間指導計画表

教科・科目	公民科・公民総合	単位数	4単位
		学科・学年・学級	普通科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>〔倫理分野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 <p>〔政治・経済分野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	<p>〔倫理分野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書『倫理』(東京書籍) ・資料集『詳解倫理資料』(実教出版)(注:文型用) ・用語集『倫理用語集』(山川出版)(注:文型用) ・資料集『テオリー最新倫理資料集』(第一学習社)(注:創表用) <p>〔政治・経済分野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書『政治・経済』(東京書籍) ・資料集『最新政治・経済資料集』(第一学習社)(注:文型用) ・資料集『最新図説政経』(浜島書店)(注:創表用)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	<p>〔倫理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。 <p>〔政治・経済〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。 ・社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。 ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加、協力する態度を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 	30%
b. 思考・判断・表現	<p>〔倫理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で論理的に表現している。 <p>〔政治・経済〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。 ・社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 ・課題についての考察や判断の結果をさまざまな方法を使って適切に表現しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査 	10%
c. 技能	<p>〔倫理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題に関して様々な資料を収集、整理し、情報を主体的に選択している。 ・諸資料を自己形成のために主体的に活用し、追究した内容などを様々な方法で適切に表現している。 <p>〔政治・経済〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ・得られた資料や情報を効果的に活用し、社会の諸問題を探求する学び方を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・ノート提出 	5%

d. 知識・理解	[倫理] ・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関する基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。 ・さらに、自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。 [政治・経済] ・現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身に付けているか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	55%
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	-----

3 学習計画 ●倫理分野 ○政治・経済分野

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	40	●青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の人生の中での意味や発達課題についての学習をとおして自らの生き方について考えさせる。 ギリシャ思想の学習をとおして、「よく生きる」意味について考えさせる。 	○	○		○
			●人間としての自覚		○	○		○
	○民主政治の基本原則		○			○		
	5		●人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権の意義、法の支配、民主主義の発達と人権の発達、世界の政治体制等を学ぶこととおして民主主義の課題について理解させる。 三大宗教(キリスト教、仏教、イスラーム)の学習をとおして、現代における宗教の意義を考えさせる。 	○	○		○
			○日本国憲法の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容についての学習をとおして、今日における日本国憲法の意義を理解させる。 	○			○
	6		○日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習することとおして、民主主義を支える制度を理解させる。 諸子百家の思想の学習をとおして、日本の文化や思想との関連を考えさせる。 	○	○		○
			●人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> 西洋と東洋の源流にある思想を比較して共通点と相違点を調べまとめる。 	○	○	○	○
7	○現代政治の特質と課題	<ul style="list-style-type: none"> 戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について理解させる。 	○			○		
	●国際社会における日本人の自覚	<ul style="list-style-type: none"> 日本の風土と日本人の精神的特性の関連を考えさせる。 	○	○		○		
	○現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の伝来と受容についての学習をとおして現代への影響を理解させる。 国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理に係る学習をとおして、国際政治と日本の関係について理解させる。 	○			○		

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期 / 後期	8	60	○国際社会に生きる日本人の自覚	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の法然、親鸞、栄西、道元、日蓮に係る学習をとおして、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解させる。 儒学、国学、庶民の思想などの学習をとおして、伝統文化をなす儒教道徳の特徴を理解させる。 	○			○
			●現代の資本主義経済		○	○		○
	○国際社会に生きる日本人の自覚		<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済についての学習をとおして現代の経済活動の意義について考えさせる。 	○	○		○	
	●現代経済のしくみ		<ul style="list-style-type: none"> 近代以降の思想に係る学習をとおして、今日の日本人の見方・考え方との関連を考えさせる。 	○			○	
	●福祉社会と日本経済の課題		<ul style="list-style-type: none"> 経済主体の役割、市場のしくみ、国民経済、経済成長、金融のしくみ、財政の役割に係る学習をとおして、経済活動の調整について理解させる。 	○			○	
	○現代を生きる人間の倫理		<ul style="list-style-type: none"> 西洋近代思想の特色である、「人間中心主義」や「合理主義」の見方・考え方が誕生した背景とそれに関連する思想について理解させる。 	○			○	
11	●日本経済の発展と産業構造の変化	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済の歴史、中小企業問題、日本の農業、国民の生活、環境・公害問題の学習をとおして日本経済の課題について理解させる。 	○	○		○		
	○国際社会を生きる日本人の自覚	<ul style="list-style-type: none"> 近代の「合理主義」の限界が提起された背景とそれを克服する思想について理解させる。 	○	○		○		
12	●福祉社会と日本経済の課題	<ul style="list-style-type: none"> 日本の労働問題・社会保障を取り巻く問題の学習をとおして自らの関わりについて考えさせる。 	○	○	○	○		
	○現代の課題を考える	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題の学習をとおして自己の生き方と結びつけさせるとともに自らの考えについてまとめさせる。 	○	○		○		
後期	1	10	●国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> 国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題についての学習をとおして、世界経済と日本経済とのかわりを考えさせる。 	○	○		○
			総復習	<ul style="list-style-type: none"> [共通] 問題演習を通して、これまでの学習内容の理解の定着を図る 	○	○		○
【その他】								